

(様式)

物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学分科会の設置について

分科会等名： 物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学分科会

1	所属委員会名	物理学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>素粒子物理学や原子核物理学は、物理学の中ではより基本的な法則やより素なるものの探求が主たる研究テーマである。原子核や素粒子のスケールは一兆分の一センチメートルから一京分の一センチメートルといった小さなスケールであり、それを観測するための顕微鏡として「加速器」と呼ばれる装置が必要となる。現在のフロンティア素粒子・原子核物理学を支えるためには、ギガ (<math>10^9</math>) ボルトやテラ (<math>10^{12}</math>) ボルトといった加速エネルギーが必要となり、加速粒子も電子・陽子・重イオンと多岐に亘る。また、畢竟、大型プロジェクトとなり、世界的な連携や協力も必要となる。</p> <p>この分野における日本の研究は、理論・実験両面においてめざましいものがあつたが、今後の本分野のあり方においては、ますます大型化する現状を直視しつつ、厳しい分析と注意深いプランニングが必要とされる。また、国際的動向を分析する必要がある。本分科会では、研究者の英知を集め、コミュニティとも連携をはかりながら、本分野の科学の進め方に関する提言を行なう。</p> <p>また、本分野は社会に与える影響も多く、社会的インパクトや社会的理解の増進についても議論する。</p>
4	審議事項	素粒子物理学や原子核物理学の現状の分析と、本分野の日本における今後の科学研究の進め方。国際分担のあり方。社会的普及。その他、関連する事項。
5	設置期間	時限設置 平成 年 月 日～平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	